

【全国発信記事】 九州関門地方支部

対話集会を開催 <<福岡>> <<北九州・下関>> <<大分>>

九州関門地方支部は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策を徹底した上で、福岡地区、北九州・下関地区、大分地区それぞれの地区で対話集会を開催した

地区対話集会は3月14日に福岡で、翌15日に北九州・下関地区、大分地区は22日の開催となった。各地区での対話集会は、はじめに執行部から、海員春闘の中央交渉の進捗状況を報告し、続いて九州関門地方支部が担当している地域の各会社との個別交渉の経過を報告した後、今後の進め方を説明し、質疑応答で共通理解を深めた。

-主な質問・意見-

- ▽新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、昨年以上に厳しい交渉が予測されるが、少しでも労働条件の改善が図れるよう頑張ってもらいたい
- ▽コロナ禍による旅客輸送の低迷から、年間臨時手当の支給率低下が懸念される
- ▽組合員が新型コロナウイルス感染者または濃厚接触者になった場合の処遇等に関する質問
- ▽ハラスメント行為に対する組合としての対応策に関わる質問

最後に、長引く新型コロナウイルス感染症や紛争の影響による物価上昇や燃料油価格の高騰など、懸念材料・不安材料が多く、昨年以上に厳しい交渉が予測されるが、労働条件の改善に向け一歩でも前進できるよう出席者全員でさらなる団結を確認し、各地区対話集会を終了した。